

[仮訳]

プレスリリース

投資家の注目が高まる中、サプライチェーントレーサビリティの不備が世界の水産大手をリスクにさらす

合計資産総額約 6.5 兆米ドルを管理する投資家グループが、サプライチェーントレーサビリティの改善に向け、大手水産会社 7 社と協力し、透明性の不備に関連する重大な規制リスク、風評リスク、及び経営リスクへの対応に取り組んでいます。

- 協力する 7 社すべてが、サプライチェーンの透明性の不備による重大なビジネスリスクを認識しているものの、十分なトレーサビリティ・システムの導入計画を公表した企業はまだありません。
- 現在、全行程を網羅するトレーサビリティへのコミットメントを掲げているのは 2 社のみとなっており、コミットメントに対する進捗状況を開示している企業はありません。
- デジタルかつ全行程を網羅した、相互運用可能なトレーサビリティ・システムの導入には引き続き課題はありますが、7 社すべてが積極的に参加することによって、導入促進 2 年目に突入した今、改善の可能性を示す有望な前例となりました。

2024 年 12 月 4 日、ロンドン - [FAIRR イニシアチブ](#) は本日、水産物業者が販売するすべての天然および養殖水産物、ならびに調達するすべての養殖飼料原材料の出所を追跡できるようにすることを目的とした、初の試みとなる [投資家等の取り組み](#) の結果を発表しました。

野村アセットマネジメントや DNB アセットマネジメントを含む、合計資産総額 6.5 兆米ドルに上る 35 の投資家達の支援により、この取り組みは、世界最大*の上場水産企業 7 社**のサプライチェーンの透明性が不十分であることがもたらす重大なビジネスリスクに対処することを目指しています。これらの企業は世界の水産物の大部分を供給し、世界中の大手ブランドや小売業者に販売しています。

この取り組みは、総運用資産 75 兆米ドルを代表する投資家達が支援する投資家ネットワーク FAIRR が主導し、[世界自然保護基金 US \(WWF-US\)](#)、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)による [持続可能なブルーエコノミー・ファイナンス・イニシアチブ](#)、[ワールド・ベンチマーキング・アライアンス \(WBA\)](#)、[プラネット・トラッカー](#) なども支援しています。

この継続的な取り組みの初年度から得られた知見を明らかにした [報告書](#) によりますと、7 社すべてが、サプライチェーンの透明性の不備に関連する規制、風評、業務上のリスクが高まっていることを認めているにもかかわらず、デジタルかつ全行程を網羅した、相互運用可能なトレーサビリティ・システムを導入する計画を公表しておらず、株主をリスクにさらしています。

現在までのところ、7 社のうち、[チャロン・ポカパン・フーズ社](#)と[タイ・ユニオン社](#)の 2 社だけが、食用の水産物全般と養殖魚の飼料を対象とした、比較的強力でグループ全体のトレーサビリティに関する取り組みを確立しています。他の 5 社は、まだトレーサビリティに関する取り組みをしていない、または、特定の業務や魚種を対象とした部分的な取り組みにとどまっています。これらの結果は、この投資家達の取り組みの年次進捗を測定する際の基準点となります。

サステナビリティ基準によって認証された水産物の割合が増加したにも関わらず、消費者は自分たちが口にする魚が持続可能な方法で調達されたものであると確信することができません。不透明なサプライチェーンは、頻繁に消費される水産物の一部と、人権侵害、生息地の破壊、乱獲といった現実の環境・社会問題との関連性を曖昧にしています。

2024.12.04

世界の水産物貿易額は、牛肉、豚肉、鶏肉を合わせたものを上回ります。しかし、透明性とトレーサビリティの不備は、違法・無報告・無規制（IUU）漁業の隠蔽につながり、世界の天然漁獲物の約20%を占め、魚資源の持続可能性を損ない、世界経済に年間150億米ドルから360億米ドルの損害を与えています。

規制当局はこうしたリスクに着目し始めており、主要な水産物市場ではサプライチェーンのトレーサビリティの改善を求める法律が施行されつつあります。例えば、米国の食品安全近代化法（FSMA）や日本の水産流通適正化法は、企業が製品の安全性、持続性、合法性を証明できるトレーサブルなサプライチェーンの必要性を強調しています。

透明性はまた、将来のEU企業持続可能性報告指令（CSRD）の開示や、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）を含む任意の枠組みをサポートしています。トレーサビリティは、世界の水産バリューチェーンから調達する企業にとって必須機能となっています。

この取り組みの初年度には、一連のトレーサビリティに関する要件が設定されました。それが達成されれば、企業や投資家は持続可能な機会を手にしながらか、リスクを監視・管理できるようになります。これらの要請には以下が含まれます：

- 全行程を網羅するフルチェーントレーサビリティシステムを導入するための期限付きコミットメントを設定します；
- Global Dialogue on Seafood Traceability (GDST)などの先進的な標準に沿ったトレーサビリティシステムの範囲、深さ、広さにおいて十分な野心を示します；
- 定期的な進捗報告を含め、コミットメントをどのように実現するかを開示します。

水産物トレーサビリティ・イニシアティブの第1フェーズでは、企業の関与が有望なレベルにあることが明らかになりました。2025年に第2段階に移行し、追加の投資家署名者を再募集する中で、FAIRR、そのパートナー、参加投資家達は引き続きこれらの企業と連携し、強力なサプライチェーントレーサビリティに向けた測定可能な進展を促進するための技術支援の提供に注力します。

FAIRRの投資家アウトリーチ担当ディレクターのソフィア・コンデス氏は、次のように述べた：

「世界中で捕獲された魚の20%が依然として違法、不規制、および報告されていない漁業活動からのものであるため、本当の出所が不明なままです。投資家にとって、この問題は単なる透明性の問題ではなく、金融的および風評リスクが高まっている状況です。」

「規制が厳しくなり、消費者の透明性要求が高まる中で、強力なトレーサビリティ・システムを導入しない企業は重大なリスクにさらされます。これらのシステムがなければ、企業はコンプライアンスの失敗に直面するだけでなく、長期的な利益性も危険にさらされます。投資家達は、トレーサビリティが単なる規制上の必要条件ではなく、消費者の信頼と長期的なリターンを守るための戦略にも不可欠事項であることを認識しています。」

野村アセットマネジメント シニアポートフォリオマネージャーの山脇大氏は、次のように述べた：

「投資家は、水産業者がより強力なトレーサビリティ・システムを導入する必要性を浮き彫りにする重要な役割を果たしています。対話を通じて、企業はトレーサビリティの改善の必要性を認識しているようですが、認識だけでは十分ではありません。私たちは、トレーサビリティの改善に向けた積極的な計画とその開示、進捗を歓迎します。」

DNB アセットマネジメント レスポンシブル投資シニアアナリストのカール・ヘグトゥン氏は次のように述べた：

「持続可能な食料システムを確保することは、世界規模の生物多様性において重大な課題です。最善の取り組みを行うには、強力なトレーサビリティの実践と高い透明性が求められます。」

UNEP FI 責任者のエリック・アッシャー氏は次のように述べた：

「私たちは、シーフード・トレーサビリティ・インベスター・エンゲージメントに協力できることを嬉しく思います。この取り組みは、シーフードサプライチェーンにおける持続可能な実践の推進における投資家の重要な役割を強調しています。フルチェーン、デジタル、相互運用可能なトレーサビリティは、透明性を確保し、投資家達が情報に基づいた意思決定を行い、サステナビリティとレジリエンスを業界全体で推進するための基盤となるステップです。この取り組みは、持続可能なブルーエコノミーファイナンス原則に沿ったものです。」

プラネット・トラッカー オーシャンチーム責任者のフランソワ・モニエ氏は次のように述べた：

「トレーサビリティに裏付けられていないサステナビリティの主張は、シーフード業界ではほとんど価値がありません。進展といくつかの前向きなコミットメントはあるものの、私たちの評価では、大手上場企業は投資家が直面しているリスクを軽減するために十分な行動を取っていないことが明らかになっています。これを変える必要があります、これは誰にとっても利益となります。」

オーシャン・スポットライトのエンゲージメントリード、ワールド・ベンチマーキング・アライアンスのエミリー・ハウゲート氏は次のように述べた：

「トレーサビリティは、シーフード業界が将来の食料として世界が必要とするものとなり、海洋生物への害、人権侵害、投資家へのリスクに対処するために不可欠です。シーフード企業は、全体のチェーンにおけるデジタルで相互運用可能なトレーサビリティに関する明確で迅速なコミットメントを持たなければならない、それに対して責任を負えるようにする必要があります。私たちは、単なる約束ではなく、実際の進展が見たいのです。」

WWF-US のブルーファイナンスシニアディレクターのルーシー・ホームズ氏は次のように述べた：

「水産業の長期的な経済的健全性は、海の健全性にかかっています。しかし、大規模な乱獲、汚染、気候変動により海洋の健全性が低下している今、企業とその投資家は、増大するさまざまなリスクにさらされています。サプライチェーントレーサビリティは、企業とその投資家にとって、自然、気候、人に関連する影響と依存関係を理解し、関連するリスクと機会をどのように管理するかを知る上で、極めて重要な使命です。WWF は、サプライチェーンの透明性とトレーサビリティを当たり前のものにするために、産業界や金融界と協力することにコミットします。」

GDST の暫定事務局長のヒュー・トーマス氏は次のように述べた：

「GDST 規格と GDST 財団のパートナーリスト、コミットメントステートメントと能力テストは、金融機関が相互運用可能なデジタル・トレーサビリティの採用/実装に向けた水産業界の進捗状況を監視するための重要なツールです。GDST 基金は、FAIRR イニシアティブの協力者として、FAIRR イニシアティブを通じてリーダーシップを発揮している水産業界のパートナー企業を支援できることを光栄に思います。」

*時価総額ベース。この取り組みに参加した 7 社は、業界における相対的な影響力（時価総額やシーフード収益）とトレーサビリティの準備状況（WBA シーフード持続可能性指数でゼロ以上のスコア）など、いくつかの要素に基づいて選ばれました。

**チャロン・ポカパン・フーズ (Charoen Pokphand Foods Pcl)

丸紅株式会社 (Marubeni Corporation)

マルハニチロ株式会社 (Maruha Nichiro Corporation)

三菱商事株式会社 (Mitsubishi Corporation)

株式会社ニッスイ (Nissui Corporation)

ノマドフーズ (Nomad Foods Ltd)

タイ・ユニオン (Thai Union Pcl)

お問い合わせ

インタビューやコメントを含む詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください：

- 担当者：Georgia Dalton, ESG コミュニケーションズ
- 電話番号: + 44 (0)7798 751 529 | メールアドレス: georgia@esgcomms.com

FAIRR について

FAIRR イニシアチブは、ジェレミー・コラー氏によって設立された投資家ネットワークであり、75兆ドルの支援資産を有します。FAIRR は機関投資家と協力し、集約的畜産・養殖システムに関連する重要な ESG 課題を定義し、その情報を資産スチュワードシップと投資判断に統合するために必要なツールを提供しています。これには [コラーFAIRR インデックス](#) が含まれ、これは環境・社会・ガバナンス問題に関して世界最大の動物性タンパク質企業を包括的に評価した世界初のものです。